

咲くやこの花館 新刊のご案内

落とし穴式

ヘリアンフォラ (*Heliampora*) の仲間

サラセニア科

どんな植物? 赤い突起から蜜を出す

赤道に近い熱帯でありながら、ギアナ高地 (p.27) という特殊な環境に23種の野生種 (p.61) が分布しています。

サラセニアと同じように筒状の捕虫葉をもっていますが、サラセニアの捕虫葉のふたの部分にヘリアンフォラではとても小さく、赤い突起のようになっています。これはネクター Spoon またはネクターキャップと呼ばれる、甘い蜜を分泌します。

野生種は暑さに弱く、育てにくいのですが、近年では暑さに比較的強く育てやすくなった交雑種 (p.60) が流通しています。



▲ヘリアンフォラ・ミル (*Heliampora minor*)
1990年「国際花と緑の博覧会」に出展された、「まほろしの食虫植物」として話題になった。咲くやこの花館の高山植物室で見ることが出来る。

どこにか? 南アメリカ大陸のギアナ高地

ブラジル北部、ベネズエラ、ガイアナにまたがるギアナ高地。標高1000~2000mの間を通って涼しく、年間降雨量は2000~3500mmと雨や霧が多い湿潤な地域に分布しています。テーブルマウンテンと呼ばれる山には独自の生態系があります。



© 2023 World Checklist of Vascular Plants

どうやって虫を誘う? ネクター Spoon の蜜で虫を誘う

小さなネクター Spoon の中に甘い蜜をためて、虫などを誘います。筒の内部の上のほうと下のほうには下向きの短い毛が密に生えているため、足がかりを失って落ちた虫は這い上がることができなくなり、筒の中で餓死 (餓死) または水死します。主にアリを捕まえますが、大型甲虫を捕まえることもあります。消化酵素 (p.11) はあまり出さず、細菌のはたらきを借りて虫をとかし、養分を吸収しています。

ここがスゴイ! スリットや穴で水位を調節する

ウツボカズラの捕虫袋には雨よけのふたがついていますが、ヘリアンフォラのふたはとて小さく、こんなふたで雨が降ったとき役に立つのでしょうか? 原産地のギアナ高地はあまりにも降雨量が多く、たとえ大きなふたがついていても、傘の役目は果たせません。では、雨が降ったら?

雨が降っても大丈夫。ヘリアンフォラには雨水対策が備わっているから心配ないのです。

サラセニアと同じように、ヘリアンフォラの捕虫葉は1枚の葉が筒状に丸まったもので、縦2列に走るひだのところで折り合わせたようにくっついていますが、そのうち、ろうと形の口付近が完全に閉じておらず、スリット状にすき間がある種や、ひだの間に穴があいている種があり、そこから雨水を排出し、水位を調節しています。よって、サラセニアとちがって大雨でも満水になることはありません。

スリット状



穴あき



ヘリアンフォラ属の排水様式

▶ヘリアンフォラの筒のひだのすき間から水が排出されるよ



26
27

ページをめくるたび、**食虫植物の『スゴイ』** が飛び出してくる!

スマホをかざして **驚きの瞬間を目撃せよ!**



タイトル『よくわかる! 食虫植物』

咲くやこの花館 編集 定価 1,500円(税込み)

発行日: 2026年 3月1日(日) 一般発売日: 2026年 4月1日(日)

- ① 咲くやこの花館書き下ろし最新作「よくわかる! 食虫植物」
- ② 未来の科学者たちに読んでほしい最強の食虫植物バイブルが誕生
- ③ 最新研究×イラスト×動画

※書店ではお求めになれません。

● 一般のお客様へ 咲くやこの花館オンラインショップにて販売(4月1日~)

● 施設・事業者様へ 売店販売・教材としてご活用ください。部数に応じて特別価格にてご提供いたします。

※お取引には別途ご契約が必要となりますので、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ 咲くやこの花館 Tel: 06-6912-0055 E-mail: sakuyakonohanakan@osgf.or.jp

